

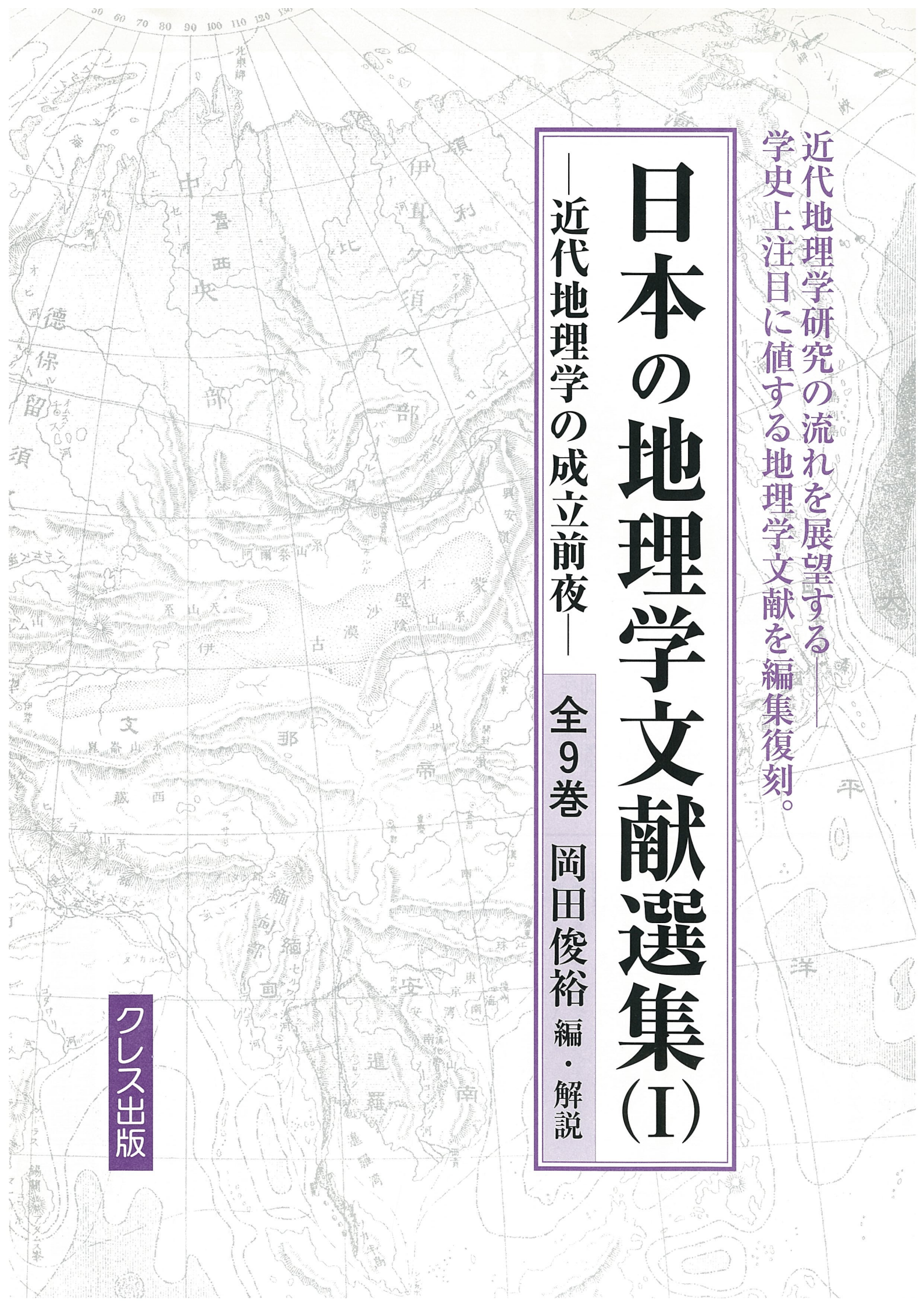
近代地理学研究の流れを展望する
学史上注目に値する地理学文献を編集復刻。

日本の地理学文献選集(I)

— 近代地理学の成立前夜 —

全9巻 岡田俊裕編・解説

クレス出版



地理学は極めて古い学問であり、その成果は統治者にとって必須の基礎資料になるものであった。またそれは、教育内容としても、教養としても早くから重要視されてきた。しかしながら、日本で近代地理学が成立したのはかなり遅く、欧米諸国に比べると数十年、日本の地質学や歴史学と比べても二、三十年の遅れがあったといえる。

日本の大学に地理学の講座が初めて設けられたのは一九〇七(明治四〇)年のことで、京都帝国大学文学部(現在の京都大学文学部)の史学科においてであった。そこに小川琢治(一八七〇-一九四二)が教授として、石橋五郎(一八七六-一九四六)が助教授として着任した。また、一九一一(明治四四)年には東京帝国大学理学部(現在の東京大学理学部)の地質学科にも地理学講座が設けられ、山崎直方(一八七〇-一九二九)がその教授に就任した。

このような人たちの奮闘によって近代地理学が成立していったと考えられるが、本叢書は、そこに至るまでの地理学研究の流れを展望する。その際、学史上注目し得る地理学文献をオリジナリティな姿で呈示し、近代地理学成立前後のいく筋かの研究の流れに臨場感をもって立ち会えるようにしている。

地質学から地理学に向った山崎直方と小川琢治、その師小藤文次郎(一八五六-一九三五)、歴史学から地理学に向った石橋五郎、その師坪井九馬三(一八五八-一九三六)、独自の道を歩んだ小田内通敏(一八七五-一九五四)、これらの人たちの主要な論著や編集誌が本叢書の中心に据えられている。それに加えて、当代屈指の地理学者に成長する志賀重昂(一八六三-一九二七)の二十歳代の著書二編、中等学校教師として独力で地理学の体系を築いた矢津昌永(一八六三-一九三〇)と牧口常三郎(一八七二-一九四四)の三十歳前後の著書三編、地理学者を志した内村鑑三(一八六一-一九三〇)と地理学を視野に入れた農学者新渡戸稲造(一八六二-一九三三)のともに三十歳代の著書二編、これらがその前後に配されている。

明治期の日本において近代地理学の成立に向けて尽力した人たちの多くは、二十歳代、三十歳代の青壮年であった。これら気鋭の学究たちは、どのような地理学を構築しようとしたのか。それを読み取るべく、選りすぐりの原典を結集して本叢書は刊行される。

食

食物ハ身軀榮養ノ基本ニシテ國土及氣候ニ應ジテ著シク差別アリ例ヘバ寒地ニシテ冬ニシテ淡泊ナル植物性ノ食料ヲノミ採ラシメバ終ニ生存シ能ハザルト同ジク暖地ナル印度人ヲシテ獸脂ヲ食ヒ魚油ヲ飲マシムルトハ到底爲シ得ル所ニアラズ是レ全ク氣候ニ應ズル身軀榮養ハ差ヨリ生ズル自然ノ作用ナリ夫レ亞細亞ノ重モナル諸邦ハ温暖ノ地ナリ故ニ亞細亞人が多ク植物性ノ食物ヲ採ル亦是レ氣候自然ノ然ラシムル處タルノミ特ニ亞細亞南部諸國ハ夏期ニ至レバ多濕ナル西南氣候ノ流行シテ所謂梅雨滯然トシテ降續キ之レガ爲メニ田圃水ヲ以テ浸サレ稻禾油ハトシテ生茂シ頗ル米作ニ適セシム是ヲ以テ此諸邦ノ住民ハ米穀ヲ以テ第一ノ食料トシ米食人種ノ名アル所以ナリ故ニ米食ハ亞細亞諸邦住民ノ好嗜ノミナラズ此好嗜ヲ養成セシハ其國土ノ温度及氣候風トニヨルト謂ハザルベカラズ日本ハ特ニ古ヨリ瑞穂ノ國ト稱シテ國土ノ稻作ニ適スルヨリ多クハ水田ヲ經營シテ稻禾ヲ作ルヲ以テ常業トシ米作ニハ佳名アル國ナルヲ以テ古ヨリ常食ハ多ク米ヲ用井タリ而シテ古ハ米ヲ以テ朝夕二回ノ常食トセリ此米ハ白米ニアラズシテ玄米ヲ蒸シ強飯トセシモノナリシ・其後強飯ト稱シテ釜鍋等ニテ煮ルヲ行ハレ始メテ

風俗

八十九

第二節 都會の意義

都會と村落

一般に都會と稱せらるゝ人類團體には市、町、區、市街、都府等の異名ありて、其中には尠なからざる大小の階級あり其大なる者に於ては一見明瞭なれども其小なるものに至りては村落との分界極めて不明瞭なり是に於てか都會の意義を劃定するの要あり近來行政上の便宜より將た共同生活の便益上より次第に村落の増大を來し其結果一方に一万以上の人口を包有して尙ほ村の稱ある者あれば他方には僅に數千の人口を有するも猶ほ市街の名稱を冠するものあり之に於てか之が區別を單に人口の多寡のみによりてなすの外他の標準を要するに至れり斯くて觀察點を變じ兩者を比較し異同を考察するときは他に一の著しき差異點あるを見るべし團體の疎密是なり新渡戸農學博士が都會の定義を下して密集村落の大なるものと云ひ更に人口の定限を萬國統計學者の決議に基き人口二千以上を有するものとせるは粗ぼ本邦に於ての觀察と符合するものと云ふべし要するに都會は人口二千以上を有する密集の永住的團

都會の定義

日本の地理学文献選集(I) 全9巻構成

第1巻 志賀 重昂

『南洋時事』(一八八七年、丸善商社書店)
『地理学講義』(一八八九年、敬業社)

第2巻 矢津 昌永

『日本地文学』訂正再版「気界」、「陸界」、「水界」、「日本ノ氣候」の部分収録(一八八九年、丸善商社書店)
『日本帝國政治地理』訂正再版「総論」、「社会住民」、「生業物産」の部分収録(一八九三年、丸善株式会社書店)

第3巻 内村鑑三・新渡戸稲造

内村鑑三
『地理学考』(一八九四年、警醒社書店)
新渡戸稲造
『農業本論』第三版「農業の分類」、「農業と人口」、「農業と地文」の部分収録(一九〇〇年、札幌農学校学芸会蔵版、豪華房)

第4巻 小藤文次郎・山崎直方

小藤文次郎
『地学雑誌』発行二付地理学ノ意義ニ解釈ヲナス(一八八九年)
『阿波地理小誌』(一八八九年)
『地理学教科書』初版(一八九〇年、敬業社)
山崎直方
『台湾諸島誌を読む』(一八九六年)
『第七回万国地理学大会の景況』(一九〇〇年)
『水河果して本邦に存在せざりしか』(一九〇二年)
『アメリカ旅行談』(一九〇二年)
『政治地理に就て』(一九〇二年)
『地理学現今の位置』(一九〇三年)
『本邦市邑の地理的組織に関する二の例』(一九〇四年)
『フリードリッヒ・ラッツェル先生を悼む』(一九〇四年)
『高山の特色』(一九〇五年)
『遠江海岸の平原の地形に就きて』(一九〇五年)
『清国山西省の地形に就きて』(一九〇五、六年)
『清国都邑の構造に就て』(一九〇六年)
『秋吉台のカルストに就きて』(一九〇六年)

第5巻 小川 琢治

『日本風景論を評す』(一八九五年)
『台湾諸島誌』(一八九六年、東京地学協会)
『地理学とは何ぞや』(零丁学人、一八九八年)
『歐羅巴旅行談』(一九〇一年)
『北清雜記』(一九〇二年)
『日本の文明に及ぼせる地理上の影響』(一九〇二年)
『人生に及ぼす地理的影響』(一九〇四年)
『間宮林蔵先生の生涯と事蹟』(一九〇四年)

第6巻 歴史地理学者

河田 熊
『東京地理沿革考』(一八九三年)
坪井九馬三
『歴史地理とは何ぞや』(一九〇〇年)
『史学研究法』初版 「第三 地理学」の部分収録 (一九〇三年、早稲田大学出版部)
内田銀蔵
『日本古代の村落制に就きて』(一九〇〇年)
久米邦武
『歴史地理の根本に就て』(一九〇一年)
大森金五郎
『歴史地理研究の必要』(一九〇一年)
石橋五郎
『唐宋時代の支那沿海貿易並貿易港に就て』(一九〇一年)
『地学雜誌』(稲湖生、一九〇三年)
『神戸港の今昔』(桜台生、一九〇五年)
『自然と経済との關係』(一九〇六年)
吉田東伍
『江戸の古代地理』(一九〇三年)
喜田貞吉
『地理学に関する余輩の見解』(一九〇七年)

第7巻 『地理と歴史』地理歴史学会発行

第8巻 『地理と歴史』地理歴史学会発行

小田内通敏編集。『歴史地理』誌に對抗して発行(一九〇〇、〇一年)。執筆者は、小田内のほか三宅米吉・田中阿歌麻呂・野口保興・矢津昌永・佐藤伝蔵・奈佐忠行・三刀谷扶綱・内藤虎次郎・岩崎重三・石沢発身・吉田東伍など。

第9巻 牧口常三郎

『人生地理学』初版「緒論」、「第一編」、「第三編」、「結論」の部分収録(一九〇三年、文芸堂)

日本の地理学文献選集(I) —近代地理学の成立前夜— 全9巻

岡田 俊裕(高知大学教育学部教授) 編・解説

- 第1巻 志賀 重昂
- 第2巻 矢津 昌永
- 第3巻 内村鑑三・新渡戸稲造
- 第4巻 小藤文次郎・山崎直方
- 第5巻 小川 琢治
- 第6巻 歴史地理学者
- 第7巻 『地理と歴史』 地理歴史学会発行 一
- 第8巻 『地理と歴史』 地理歴史学会発行 二
- 第9巻 牧口常三郎

A5判/上製函入/クロス装 揃定価90,000円(税別)
平成19年5月末日刊行 ISBN978-4-87733-373-7(セット)

続刊

日本の地理学文献選集(II) 岡田 俊裕 編・解説 平成19年8月末日刊行
—近代地理学の形成— ISBN978-4-87733-374-4(セット)

近代地名研究資料集 全6巻

池田末則(日本地名学研究所所長) 編・解説

- 第1巻 日本歴史及地理要覧 定価12,500円(税別) ISBN4-87733-273-1
- 第2巻 帝国地名大辞典 上 定価20,000円(税別) ISBN4-87733-274-X
- 第3巻 帝国地名大辞典 下 定価26,000円(税別) ISBN4-87733-275-8
- 第4巻 大日本市町村案内 定価30,000円(税別) ISBN4-87733-276-6
- 第1巻～第4巻 全4巻 揃定価88,500円(税別) ISBN4-87733-277-4(セット)
- 第5巻 アイヌ語
より見たる 日本地名研究
アイヌ語
より見た 日本地名新研究 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-278-2
- 第6巻 町村名の研究 定価 7,500円(税別) ISBN4-87733-279-0
- 第5巻・第6巻 全2巻 揃定価18,500円(税別) ISBN4-87733-280-4(セット)

日本の人類学文献選集 近代篇 全8巻

山口 敏(国立科学博物館名誉研究員) 編・解説

- 第1巻 坪井正五郎・E.S.モールス ほか 定価16,000円(税別) ISBN4-87733-292-8
 - 第2巻 小金井良精 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-293-6
 - 第3巻 八木契三郎・足立文太郎 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-294-4
 - 第4巻 鳥居龍蔵・濱田耕作・松村瞭(一) 定価12,000円(税別) ISBN4-87733-295-2
 - 第5巻 松村 瞭(二) 定価10,000円(税別) ISBN4-87733-296-0
 - 第6巻 長谷部言人(一) 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-297-9
 - 第7巻 長谷部言人(二)・清野謙次 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-298-7
 - 第8巻 昭和前期の研究者 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-299-5
- 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-300-2(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロ一ナ日本橋
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名